



厚高インフォメーション



115

保育園訪問

本校では家庭科の授業の一環として、保育園訪問を行っています。今年十月二十一日に一年生が、十一月十八日に二年生が町内の京町保育園を訪問し、園児たちとの交流を図りました。

一クラスにつき五十人の高校生が入り、グラウンドではミニ運動会、室内では貼り絵、パズル、イストリゲームなどをして遊びました。子どもが好きな生徒ばかりではなく苦手な生徒もおりますが、はじめは子どもとの接し方がぎこちなかった生徒も、時間が経つにつれ徐々に慣れていき、人懐っこい園児たちに助けられとても楽しい時間を過ごせたようです。

生徒の中には保育関係の道に進むことを希望している者もおりますが、今回の保育園訪問を通して保育士になりたい気持ちがあります。保育の道に興味を持った生徒もいたようです。保育所訪問のほかにも本校では福祉施設訪問や工場見学、大学訪問など、卒業後の進路決定の一助となるようなさまざまな行事を行なっております。高校でのいろいろな活動を通して、自分に適した進路を見つけてほしいと願っています。



上厚真小 5年 佐藤 和佳さん (11)

「キャッチボールをしている私です。英語を逆に彫ってうまくできたのを見たときうれしかった(〇)」



上厚真小 5年 上村 恵さん (10)

「バスケの版画です。腕を彫るのに苦労したけど、動きがあるようにでき上がって満足です(〇)」

わたしたちの作品

今月の記念日

12月12日は「漢字の日」

財団法人日本漢字能力検定協会が一九九五年(平成七)年に策定しました。同協会では毎年、全国公募により、その年の世相を表す漢字一字を決定し、十二月十二日の「漢字の日」に発表。京都・清水寺貫主の揮毫により、清水寺に奉納されます。年末恒例のこの行事は、漢字が持つ奥深い意味を学ぶ機会を設けることで漢字に対する関心を深め、同時に、日本文化への認識を深めることが目的です。

日本漢字能力検定(漢検)は文部科学省認定の技能検定です。年々志願者数は増加し、平成十九年度には年間約二百七十万人が志願しました。受検者の年齢層は三歳から九十七歳まで幅広く、さまざまな年齢に人が受検できるのが漢検の魅力の一つとなっています。また、ワープロやパソコンが普及し、効率よく、正確に、スピードを上げてキーボードを打つには漢字の知識が必要になることから、漢検合格を目標に

文芸あつま 短歌

雪原を澄みて流るる厚真川中州に積む雪二分けてゆく
 思ひ出は農離れたる廃屋に髭の翁の笑顔顔ちくる
 久久に手拍子たたいて笑ひこけチャリティーショーで一日楽しむ

(本町 飛谷 富夫) (豊沢 藤本 定一) (本郷 清水 隼)

ほくの・わたしの クラスじまん

ともだちっていいな



その87 かるまいしょうがっこう 軽舞小学校

紹介してくれたのは…

軽舞小学校3・4年生のみなさん

(書いてくれたのは) 工藤拓弥くん(3年)、西村あかねさん、自黒ひよりさん(ともじ4年)



♪たくや、あかね、ひより、三人で三・四年生 たった三人ほっただけそんなのきかないさ 少ないけど力合わせりや
 何でもどんとこいなさ 三人の笑いのパワーでどんなことものりこえるよ
 落ちこんだ人がいれば助け合えるそんな三人の仲間 ガツンと怒られることもあるけどくじけないんだ イエイ イエイ
 失敗してもおとほけ言ってもあははと笑い合える 楽しくあったかい三人トリオなのさ
 楽しくて元気な仲間だよ

この歌詞のような明るい三人のクラスです。
 一人がおどりだせば、二人おどり、三人おどり、そして先生もおどって楽しいクラスです。
 いつまでも仲よしの三・四年でいたいです。
 イエイ